

VUCA時代 成長戦略探る

岩手大シンポ 産学連携の重要性確認

花巻

岩手大生産技術研究センター（長田洋セン） 今後の成長戦略や人材育成に理解を深めた。

ター長）は16日、花巻市大通りのホテルグランシエール花巻でシンポジウムを開いた。将来予測が困難な「VUCA（ブーカ）時代」をテーマに、企業、大学関係者ら約60人が参加した。ブーカは▽変動性▽不確実性▽複雑性▽曖昧性―の英語の頭文字を取った造語。市内2企業と同大教員らが講演し、AI（人工知能）の急速な進展など大きな環境の変化に対応するすべを探った。

草刈り機など扱う和同産業の三国卓郎社長は、商品開発の過程を紹介し「企画段階が何より重要。何をする商品なのか、誰が何に困っているのかなどの問題を源流から突き詰めることが大事」と強調した。

採用活動については「企業と学校は運命共同体。一人一人の幸せのために選ばれる企業となることが大切だ」と訴えた。

同大学内カンパニー「+DESIGN」の学生による活動紹介、関係者によるパネル討論も行われた。



地域企業と大学の連携協力について理解を深める参加者